



石
山





わらうとまの道とていふ人の本とぞいふはらうとていふ
ふとあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ
養とあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ
わらうとまの道とていふ人の本とぞいふはらうとていふ
ふとあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ

海鳥やうおつとれた人の神とらあじとす
まあまの道とていふ人の本とぞいふはらうとていふ
わらうとまの道とていふ人の本とぞいふはらうとていふ
ふとあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ
養とあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ

とおおせとらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ
まの道とていふ人の本とぞいふはらうとていふ
わらうとまの道とていふ人の本とぞいふはらうとていふ
ふとあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ
養とあつすまらうとていふ人の本とぞいふはらうとていふ

りくすまきごうむ勢うらちあそあそもも
みまもりのうやうと目と書よたりをうく風あけり
あはれ志ありのあひらりとんゆのふあのおまう一西
乃やあうううたのしううまあくてあんでんふ人
一うう一えまうんとものをあものりうふえて
うとまうまふそら此人乃うまうううまう
こみまあそとれあちうてだりあまあうてま
かしたとまあ入るふあそあ神んも志あそあわう
まおよとあうう一月はあそあ志あれちうくみらま
あはれあううふあうりたうせううああうまはあは
あまうあうあううまうすちうたああそあうのうん
ままううううあはああああううあううううう

はらう人のああああああああああああああああ
所とああああああああああああああああああああ
あうとあうううあああああああああああああああ
あはあああああああああああああああああああ
乃ああああああああああああああああああああ
一とああああああ

海ままも神乃うもままふあうらもああああああ
あひあああああああああああああああああああ
さうあああああああああああああああああああ
すあまああああああああああああああああああ
あううああああああああああああああああああ
あまあああああああああああああああああああ

わさうしすめはたふちう思ひ入りかきまうしとくはほほほ
れんたのひましましけんからとる金の家とねたひいさ
れとていあひくんとせあつちう人の身ゆしそ思入つちうお
らんとたてまうまうまうこのとあひしり志げうひんま
ろろく候間よひあありく入道とえうどくちうやうた
ゆしりそまはたらまりはひふそむきしせちとせちりり
まひあひくちり後世は移ひゆあつちう思入るうせ
たはあひとあひしりてあああああああああああああ
あの人ふとよまのしせれらとてあああああああああ
りてまはけしあまあみいりりりりりりりりりりりりり
らありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
くまはりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

うの人を涙とらめりりりりりりりりりりりりりりりりりり
入道びまのあひしりりりりりりりりりりりりりりりりりり
やうりひまあひりりりりりりりりりりりりりりりりりり
とばましくりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
れれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ
とてこちりあまをほつちりりりりりりりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
おちもれとらとああああああああああああああああああ
ホしりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
志どあああああああああああああああああああああああ
入道いあひあひりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

陰ありき一はきて勢の人と云ふは人の夢此よりして
ゆきあひつらふひあきしゆい一まきまてしんらふいりあは
くひあきあおひ一まてはつ命うま一うあやうん
ういん^{かん}うう一まお秘びごのどりてまの思れ程
あせり一はぐれまう一なうまう一そらう
りてうまを今ううてんらうまを一とまあらぬらふ
つまう一又なりぬらうま一一人はまう一まあら
あうあひ一なうの才候う一とふわぬこ一とまは
すそめまや^ひま^ひ人の一と才とま^ひあ^ひりあひ
あうまま一まはう一まんゆのう一あうまや^ひま^ひ
ぬんま^ひ一あ^ひま^ひ思^ひも^ひ才^ひの^ひう^ひ一かそ
あう^ひう^ひ一思^ひあ^ひぬ^ひう^ひみ^ひふ^ひあ^ひふ^ひま^ひま^ひ

いそるそはげの年月そと清まう一ままてあのをまふどり
色^ひ世^ひ一し^ひう^ひう^ひ一う^ひ中^ひ程^ひと^ひあ^ひく^ひま^ひは^ひら^ひら
あ^ひま^ひう^ひて^ひう^ひう^ひや^ひわ^ひの^ひ持^ひ大^ひ細^ひま^ひ持^ひは^ひま^ひを^ひく^ひ
人と^ひは^ひう^ひま^ひう^ひぬ^ひり^ひの^ひつ^ひま^ひを^ひ一ぬ^ひの^ひま^ひゆ^ひら^ひう^ひ
程^ひう^ひま^ひり^ひ一本^ひ表^ひま^ひあ^ひら^ひう^ひら^ひ志^ひく^ひう^ひり^ひて^ひま^ひま^ひ也
う^ひあり^ひて^ひ因^ひす^ひり^ひぬ^ひあ^ひま^ひう^ひま^ひう^ひひ^ひ計^ひ一秘^ひび^ひゆ^ひり^ひて^ひか
て^ひは^ひあ^ひむ^ひう^ひ一ま^ひま^ひま^ひあ^ひま^ひ一か^ひの^ひら^ひん^ひと^ひま^ひま^ひの^ひま^ひ
あ^ひの^ひほ^ひは^ひ河^ひら^ひま^ひう^ひひ^ひむ^ひた^ひあ^ひ人^ひら^ひら^ひと^ひう^ひ解^ひ一そ
今^ひは^ひう^ひあ^ひま^ひは^ひま^ひま^ひう^ひま^ひう^ひと^ひま^ひう^ひ一う^ひま^ひあ^ひん^ひ
め^ひま^ひれ^ひう^ひま^ひひ^ひま^ひと^ひう^ひひ^ひま^ひほ^ひく^ひら^ひひ^ひく^ひあ^ひり^ひま
ま^ひま^ひら^ひま^ひあ^ひう^ひて^ひ思^ひま^ひま^ひひ^ひな^ひれ^ひま^ひう^ひあ^ひま^ひら^ひま^ひ
世^ひ終^ひら^ひま^ひら^ひま^ひす^ひ一う^ひら^ひう^ひ一う^ひあ^ひま^ひま^ひま^ひら^ひま^ひ物^ひ類^ひ

Handwritten text in a cursive script, oriented vertically on the right page of the manuscript. The text is written in black ink and appears to be a single line of a longer passage.

一板



